



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

東

上場会社名 シノブフーズ株式会社

上場取引所

コード番号 2903

URL <https://www.shinobufoods.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 松本 崇志

問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員

（氏名） 長尾 正史

（TEL）06(6477)0113

経営財務本部長

半期報告書提出予定日 2025年11月7日

配当支払開始予定日

2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	31,235	9.3	1,397	14.4	1,385	10.9	1,045	11.4
2025年3月期中間期	28,569	4.4	1,221	△8.0	1,249	△7.9	937	△4.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,042百万円（11.9%） 2025年3月期中間期 931百万円（△4.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	90.19	89.68
2025年3月期中間期	76.31	75.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	29,471	15,132	50.9
2025年3月期	29,684	15,136	50.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,004百万円 2025年3月期 14,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.50	—	14.50	27.00
2026年3月期	—	15.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	4.1	2,360	1.2	2,380	0.5	1,600	60.5	135.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	12,500,000株	2025年3月期	13,000,000株
2026年3月期中間期	1,227,955株	2025年3月期	1,189,690株
2026年3月期中間期	11,589,103株	2025年3月期中間期	12,291,974株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向にあるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに加え、物価上昇の継続が消費者マインドを冷え込ませ、個人消費に影響を及ぼすなど、景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料価格や労働コストの上昇、消費者の節約志向の高まりなど引き続き厳しい事業環境が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」を基礎とした新たな価値・市場への挑戦をめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2026年3月期～2030年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「サステナビリティ戦略」、「財務戦略」をもとに目標達成に向けて取り組んでおります。

販売面では、精米価格が高騰している中で、3温度帯の製品ラインナップを幅広く提案することで、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、カフェチェーン、生協、ドラッグストアなどで販売を拡大しました。冷凍製品では、福祉施設向けの冷凍弁当の販売を開始し、順調に拡大しております。

開発面では、食材や製法にこだわり、彩りや重量、味の質を高める商品リニューアルを実施し、価格帯の見直しを進めました。営業・製造部門と連携し、市場ニーズを的確に捉えた高付加価値商品の拡充を図ることで、価格以上の満足感を提供し、ブランド力の向上と収益性の確保に努めました。

コスト面では、原材料価格、労働コスト、エネルギー価格の高騰が続く中、主要食材の調達方法の見直し、機械化による品質・生産性の向上、工場間での横断的な製造経費削減、商品規格の見直しなど、継続的な改善を実施しております。

環境面では、容器の統一化やリニューアルを進め、環境負荷の軽減に努めております。フードロスの削減では、製造工程で発生するロス削減を持続的に取り組んでおります。また、各事業所では地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

人財面では、次世代を担う人財の育成を目的として、事業所間で短期トレーニー派遣を実施し、実践的なリーダーシップ力やコミュニケーションスキルの向上に取り組んでおります。また地域に根ざした障がい者雇用の推進、安心して働ける職場環境の整備など持続的に取り組んでおります。

財務面では、自己株式の取得を通じて、資本効率の向上と経営環境の変化に対応した柔軟な資本政策の遂行に努めております。また、市場評価の向上を図るため、インスタグラムや各種メディアなどを活用したIR活動を展開し、企業価値の構築に取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高312億3千5百万円(前年同中間期比9.3%増)、営業利益13億9千7百万円(前年同中間期比14.4%増)、経常利益13億8千5百万円(前年同中間期比10.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益10億4千5百万円(前年同中間期比11.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ2億1千3百万円減少し、294億7千1百万円となりました。当中間連結会計期間末の負債合計は、長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ2億8百万円減少し、143億3千8百万円となりました。当中間連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益10億4千5百万円を計上する一方で、自己株式の取得9億7百万円、配当金の支払1億7千1百万円等により前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、151億3千2百万円となりました。

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは19億7千2百万円の収入(前年同中間期比7億1千万円収入増)となりました。これは、主として税金等調整前中間純利益13億6千9百万円、減価償却費7億3千7百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億5千8百万円の支出(前年同中間期比9千1百万円支出増)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出10億4千9百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億8千6百万円の支出(前年同中間期比8億3千4百万円支出増)となりました。これは、主として借入れによる収入5億円、借入金の返済による支出10億4百万円、自己株式の取得による支出9億7百万円、配当金の支払額1億7千1百万円によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、56億6百万円(前年同中間期比9億1千8百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に発表しました決算短信の通期の連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,279	5,606
売掛金	6,380	6,494
商品及び製品	59	50
原材料及び貯蔵品	330	354
その他	149	331
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,198	12,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,888	6,775
機械装置及び運搬具(純額)	2,505	2,615
土地	5,542	5,565
その他(純額)	470	660
有形固定資産合計	15,407	15,617
無形固定資産	156	143
投資その他の資産		
その他	925	877
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	921	873
固定資産合計	16,486	16,634
資産合計	29,684	29,471
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,471	4,728
1年内返済予定の長期借入金	1,954	2,010
未払金	2,681	2,710
未払法人税等	413	455
賞与引当金	350	394
その他	691	623
流動負債合計	10,563	10,921
固定負債		
長期借入金	3,866	3,306
退職給付に係る負債	16	9
その他	100	100
固定負債合計	3,983	3,416
負債合計	14,547	14,338

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	2,733	2,313
利益剰余金	8,439	9,313
自己株式	△901	△1,337
株主資本合計	14,964	14,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整累計額	26	22
その他の包括利益累計額合計	26	22
新株予約権	138	122
非支配株主持分	6	5
純資産合計	15,136	15,132
負債純資産合計	29,684	29,471

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	28,569	31,235
売上原価	24,280	26,540
売上総利益	4,288	4,694
販売費及び一般管理費	3,067	3,297
営業利益	1,221	1,397
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	37	0
受取賃貸料	3	3
その他	9	8
営業外収益合計	50	12
営業外費用		
支払利息	18	17
自己株式取得費用	0	5
その他	3	1
営業外費用合計	23	24
経常利益	1,249	1,385
特別利益		
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	32	16
特別損失合計	32	16
税金等調整前中間純利益	1,216	1,369
法人税、住民税及び事業税	257	278
法人税等調整額	19	43
法人税等合計	276	322
中間純利益	939	1,046
非支配株主に帰属する中間純利益	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	937	1,045

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	939	1,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
退職給付に係る調整額	△8	△4
その他の包括利益合計	△8	△4
中間包括利益	931	1,042
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	929	1,040
非支配株主に係る中間包括利益	1	1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,216	1,369
減価償却費	733	737
株式報酬費用	25	34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	25	44
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	15	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△13
受取利息及び受取配当金	△37	△0
支払利息	18	17
固定資産除却損	32	16
新株予約権戻入益	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△183	△113
棚卸資産の増減額(△は増加)	△29	△15
仕入債務の増減額(△は減少)	198	256
未払消費税等の増減額(△は減少)	△112	△0
その他の資産の増減額(△は増加)	△196	△189
その他の負債の増減額(△は減少)	△132	93
小計	1,575	2,235
利息及び配当金の受取額	37	0
利息の支払額	△19	△17
法人税等の支払額	△366	△253
法人税等の還付額	33	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,262	1,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△913	△1,049
無形固定資産の取得による支出	△52	△8
その他の支出	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966	△1,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	500
長期借入金の返済による支出	△964	△1,004
自己株式の取得による支出	△106	△907
配当金の支払額	△178	△171
非支配株主への配当金の支払額	△1	△2
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△752	△1,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△456	△672
現金及び現金同等物の期首残高	6,981	6,279
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,524	5,606

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。